

1. 科目名 ( 単位 数 )	子ども家庭支援論 ( 2 単位 )	3. 科目番号	秋期
2. 授業担当教員	押部 直也		
4. 授業形態	講義、ゼミナール形式、グループ活動、ディスカッション、演習、プレゼンテーション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	子育てで家庭に対する支援の意義と役割について理解し、保育士の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について、子どもの育ちの喜びを保護者と共有することや保護者自身の子育て実践力の向上に資する支援の重要性、保育士に求められる倫理観や受容的・共感的関わりのある方などについて習得する。さらに、社会資源の活用や関係諸機関との連携、子育て家庭のニーズに応じた様々な支援の展開、近年の子育て支援の体制や施策についても理解を深める。		
8. 学習目標	現代の子育て家庭と子育て支援・家庭支援について理解し、説明することができる。 わが国の子育て支援政策について理解し、説明することができる。 保育所における子育て支援について理解し、説明することができる。 保育の場における相談・援助について理解し、説明することができる。 多様な子育て支援の場・人・活動について理解し、説明することができる。 ワークショップで学ぶ子育て支援について理解し、活用することができる。 社会に出た時に活用できる発想法や分析方法、スピーチ・プレゼンテーションなど具体的手法、スキルを授業の中で身に付ける。		
9. アサイメント ( 宿題 ) 及びレ ポート課題	レポートを課す予定である。レポートでは、それまでの授業内容への理解を確認するとともに、家庭支援の具体例について、自分がどのような対応をすればよいかを考える。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 石動瑞代他「学ぶ・わかる・みえるシリーズ保育と現代社会 保育と子ども家庭支援論」みらい、2020。 【参考書】 松本園子・永田陽子・福川須美・堀口美智子『実践家庭支援論 [ 第3版 ] 』ななみ書房、2017。 吉田幸恵・山縣文治編著『新版 よくわかる子ども家庭福祉』ミネルヴァ書房、2019。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 子ども家庭支援の全体像を講義やグループ討議を通して理解し、説明ができるようになる。 2. 相談援助の考え方と体系について理解し、説明することができるようになる。 3. 発想法や分析法など具体的な手法を活用することができる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極的参加 ( デスカッション・発表 ) 総合点の 20 % 2. 日常の学習状況 ( 小テスト・小レポート・学外調査・提出物 ) 総合点の 30 % 3. 課題レポート 総合点の 50 % ○成績評価の規準		
12. 受講生への メッセージ	子育てで家庭への支援の問題は、今後、保育者にとって大きなウエイトを占めることになると考えられます。実践の現場に身を置いてから困惑することがないように、自分が保育者、支援者になったらどうするかを考えながら受講してもらえればと思います。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	ガイダンス：授業の概要と進め方 子ども家庭支援の意義	事前学習	シラバスの確認。
		事後学習	子ども家庭支援論を学ぶ意義について振り返る。
第 2 回	子どもと家庭を取り巻く環境	事前学習	子どもと家庭を取り巻く環境を調べる。
		事後学習	家族構造・家族規模の変化から家族観・家庭観の変化について振り返る。
第 3 回	保育者が実践する子ども家庭支援	事前学習	保育者が実践する子ども家庭支援について調べる。
		事後学習	子ども家庭支援の基本的視点及び保育者の専門性を活かした支援について振り返る。
第 4 回	子育て家庭を支える法・制度及び社会資源	事前学習	子育て家庭を支える法・制度及び社会資源について調べる。
		事後学習	子育て支援に関する国や自治体の取り組み及び子育て家庭を支える社会資源について振り返る。
第 5 回	保育者に求められる基本的態度及び基本的技術	事前学習	保育者に求められる基本的態度及び基本的技術について調べる。
		事後学習	相談を受ける者の基本的態度(受容的関わり・自己決定の尊重・秘密保持等)及び相談スキルについて自分の意見をまとめる。
第 6 回	保育者が行う子ども家庭支援の実際(1)	事前学習	保育者が行う子ども家庭支援について考える。
		事後学習	保育の専門性を活かした子ども家庭支援について振り返る。

第7回	保育者が行う子ども家庭支援の実際(2)	事前学習	保育場面における具体的な子育て支援の方法について考える。
		事後学習	保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義や保育場面における具体的な子育て支援の方法を振り返る。
第8回	地域の子育て家庭への支援	事前学習	地域の子育て家庭への支援について調べる。
		事後学習	地域社会・関係機関と連携した子育て支援について振り返る。
第9回	さまざまな子ども家庭への支援	事前学習	さまざまな形の子ども家庭の支援について調べる。
		事後学習	ひとり親家庭の理解と支援、外国とのつながりのある子どもと家庭への支援を振り返る。
第10回	不適切な養育環境の子どもやその家庭への支援	事前学習	不適切な養育環境の子どもやその家庭への支援について調べる。
		事後学習	不適切な養育環境への気付きのポイント、支援の展開を振り返る。
第11回	障がいのある子どもと家庭への支援	事前学習	障がいのある子どもと家庭への支援について調べる。
		事後学習	障がいのある子どもの発達の様やその家族が抱える不安を理解し、その家庭への支援の展開について振り返る。
第12回	子どもの貧困への理解と家庭への支援	事前学習	子どもの貧困と家庭への支援について調べる。
		事後学習	子どもの貧困の現状と課題、対応・支援の流れについて振り返る。
第13回	保育と子ども家庭支援	事前学習	保育と子ども家庭支援のつながりについて調べる。
		事後学習	保育が子ども家庭支援に果たす役割について振り返る。
第14回	子ども家庭支援におけるソーシャルワーク	事前学習	子ども家庭支援におけるソーシャルワークについて調べる。
		事後学習	保育現場に求められるソーシャルワークについて振り返る。
第15回	幼児教育と子どもの育ち まとめ	事前学習	幼児教育と子どもの育ちについて調べる。 これまでの配布資料を読み直して学習内容を振り返る。
		事後学習	保育士が関わる家庭支援が、保護者の子育てを实践する力の醸成につながることを振り返る。 授業全体を振り返る。